

【谷田部地区活動レポート】 5/28（土）

薬師下公園、アダプト・ア・パーク

今回のアダプト・ア・パークは「薬師下公園」。何故「薬師下」と言うのか？ 予てより疑問を持っていたので調べてみた。その結果、次のことが分かった。梅屋ホテルの入口に並行して緩やかな坂道を上ると「薬師堂」がある。そこに祀ってある「薬師様」は医薬の佛、護眼の佛として壇中はもとより近郷、近在の人々に広く親しまれているとのこと。「薬師下」はその「薬師堂」の下の場所に位置することから名付けられたものと私なりに理解した。

前日の大雨があがり、当公園の草木の緑は濃くなり、気温も上がり初夏を思わせる中での開催。参加人数は22名（男性8名、女性14名）。その内、初参加者が5名。

先ず、成島副理事長より①先般開催した「30周年記念式典」は、「会員皆様のご協力により成功を収めることが出来た」と感謝の意を述べられた。②「定時総会（6月24日、金、市民ホールやたべ）に出席のお願い」の話があった。

続いて、小杉地区長より③令和4年度谷田部地区活動計画予定及び④地区懇談会（7月23日、土、市民ホールやたべ）について話があった。

その後、各自「トンゴとゴミ袋」をもって公園内のゴミ拾いをした。燃やせえるゴミ、空き缶、空き瓶等に分別して収集した。お陰様で大変綺麗になった。

次に、新規ゲームとなる輪投げをした。「たかが輪投げ、されど輪投げ」。輪投げは、なかなか奥深いもので「体と頭も使う全身運動」。必要とされる運動機能は、「筋力、平衡力、調整力、頭



の柔軟性」とのこと。

ゲームは1人が9本の輪を2m離れたワナゲ台に向かって投げ、的に輪が入った下の数字の合計が得点となる。縦横斜のいずれか1列に輪が入った場合は合計数字(15)の2倍(15×2)の30が点数となり、高得点に繋がる。この様に得点を競うゲームである。

輪を投げてみて(投輪)、そう簡単に的に入らないものである。最初は気軽に投輪するものの、輪がいくつかの的に入り高得点が狙えそうな場合は「頭と体」を使って「本気モード」で挑む姿が見られた。

高得点が出る度に拍手と共に歓声が上がり大いに盛り上がった。「輪投げは楽しかった。次回も実施して」の声が多数あった。

優勝をはじめ入賞者にはささやかなプレゼントがあり、楽しい交流となった。



文責：西田光昭